

## ADLに必要な動作訓練と AAT ～セラピードッグがもたらすプラス $\alpha$ の効果～

佐々木伽奈<sup>1)\*</sup>・早坂智美<sup>2)</sup>・佐藤美月<sup>1)</sup>・的場美芳子<sup>1)</sup>

- 1) 学校法人日本環境科学学院 専門学校アニマルインターカレッジ  
2) 社会福祉法人 国見会 特別養護老人ホーム 国見苑

### Report of Animal-assisted Therapy: Motor/Motion Training Required for ADL (Activities of Daily Living), and the Effects of Plus $\alpha$ through Therapy Dog.

SASAKI Kana<sup>1)\*</sup>, HAYASAKA Tomomi<sup>2)</sup>, SATO Mizuki<sup>1)</sup>, MATOBA Miyoko<sup>1)</sup>

#### 緒言

本活動報告の目的は、所属校の実習で行っている動物介在療法 (以下 AAT) を導入したりハビリプログラムにおける身体的、精神的な変化を記録し「セラピードッグがクライアントにどのような影響を及ぼすのか」ということを検討することである。

#### 方法

##### 1. セラピードッグについて

犬種：トイ・プードル (ホワイト)、犬名：楽 (らく)、年齢：4 歳、性別：メス、体重：約 3kg、その他：学校飼育犬 (筆者担当犬) であり学校認定のセラピードッグ。

##### 2. クライアントについて

77 歳女性。脳梗塞、左片麻痺、筋力低下、バランス機能低下、肥満、認知機能の低下 (HDS-R 7 点)、注意障害、日常生活動作 (以下 ADL) の指数 (Barthel Index 35 点)。作業療法士が AAT を用いた治療計画の説明をし、同意を得て行われた。

##### 3. AAT リハビリプログラムの内容について

平成 30 年 4 月から約 6 か月間にわたり実施、月 2、3 回 (毎週金曜日) に約 30 分間、作業療法士が行うリハビリ内容 (表 1) に沿って行った。表 1 にプログ

ラムの内容を OT の役割、セラピードッグの介入方法としてまとめた。

#### 結果と考察

歩行訓練の中で犬がハードルを飛ぶのを見て 1 度だけではあるがクライアント自ら足を上げる動作を見せた。犬を見る、触るという介入方法を取り入れたことで、五感からの刺激がクライアントに良い影響を与え、自発的に患側の左手を動かす、足を上げる等の動作が現れるという身体的な変化に繋がったと考える。

上肢機能訓練の中でのブラッシングで無理やり梳かさそうとせずに自ら左手を添えて犬に痛みが無いようにする行動や、包み紙に入っていたおやつが大きかった時「よかったね」という言葉や、バンダナを付けたあとに犬の身なりを整えるという動作など、犬への思いやりが生まれたことや、入居者間のコミュニケーションのきっかけ作りというプラス  $\alpha$  の効果があることも分かった。

#### 謝辞

本研究活動を行うにあたり、貴重な時間を割いて協力して頂きました特別養護老人ホーム国見苑の施設長の庄司英子様へ深謝いたします。

\* 連絡先：〒 980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町 2 丁目 2-3 専門学校アニマルインターカレッジ

表1 AATリハビリプログラム

OTの役割	クライアント動作	セラピードッグの介入方法
上肢機能訓練	<ul style="list-style-type: none"> <li>・犬にバンダナを着ける（スナップボタン、プラスチックボタン、かぎホック、差し込みバックル、端を結ぶ等）</li> <li>・犬に着せた服のボタンやファスナーを付ける</li> <li>・コームを使い、ブラッシングする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バンダナを着けてもらう</li> <li>・服を着せてもらう</li> <li>・ブラッシングされる</li> </ul>
立位訓練	平行棒を掴んで立ち上がる	目線が上がる先でハンドラーに抱っこされる
歩行訓練	平行棒を掴みながら歩行する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一緒に歩き始め、先にゴール先に着いて待つ</li> <li>・一緒に歩き始め、途中でハードルを跳び、先にゴール先に着いて待つ</li> <li>・一緒に歩き始め、合間に二足歩行をする</li> </ul>
上肢機能訓練	<ul style="list-style-type: none"> <li>・細長いおやつを犬が食べやすい大きさに千切ってあげる</li> <li>・包み紙からおやつを取り、犬にあげ、包み紙を元の形に戻す</li> </ul>	おやつをもらう